2022/9/27

**巻頭言**

**旧中山家住宅の再生委員会(旧中山家住宅を後世に)**

**三宅宏男**

●5年ほど前から、

　(株)山陽瓦の石井二郎社長さん、中山説太郎の孫・中山幹朗さん、中村建築士さん、私・三宅宏男の4人を中心メンバーとして、この中山家住宅を再生し、地域の皆様に活用していただいて後世に残してゆこうという思いで取り組んできました。

●敷地面積(長屋門および塀の内側部分で約3000㎡)、建物延面積(約1000㎡)と規模が大きく、築後100年ほど経過しており、屋根瓦等のいたみがかなりあり、とても所有者個人の力では、全面的な修理は、とても不可能な状態でした。

①(株)山陽瓦の石井社長さんが、資金を提供していただき、屋根瓦の葺き替え、家屋の修繕等が毎年進み現在にいたって」おります。

　2018～2019 長屋門の屋根瓦の葺き替え・修理、長屋門東側のラン温室の除却、庭木の整理

　2020 離れ西側の台所の除却

　2021 米蔵・中蔵・内蔵の屋根瓦の葺き替え・修理、外蔵の除却

　2022 渡り廊下屋根瓦の葺き替等

②国登録有形文化財への登録

県建築士会の皆様が、家屋の測量等をボランティアで実施していただきました。この測量図面等をベースに文化庁に申請しH30/11/2付けで登録されました。

1. 主屋 １棟 358㎡
2. 離れ屋および内蔵 1棟 103㎡
3. 中蔵 1棟 60㎡
4. 米蔵 1棟 69㎡
5. 長屋門 1棟 165㎡

③ホームページの制作(旧中山家住宅　倉敷)

　私・三宅宏男の県職員の頃からの先輩の平松隆志さんの全面的協力によりホームページができておりますので、ご閲覧ください。

<http://nakayamake.com>

検索エンジンでは、「旧中山家住宅　倉敷」でヒットします

●終わりに、

　3年前からの新型コロナ流行の影響で、登録有形文化財プレートの設置およびお披露目のセレモニーの実施が延期／＼となり、現在に至るまでできておりません。倉敷市の補助金も繰り越し／＼となり、このパンフレットの作成に至っている状況であります。今後とも、皆様のご協力を賜り、この屋敷を有効活用していただき、将来に残してゆけますよう、お願い申しあげます。